

天井クレーンを使つての講習風景

ヨロス物流で平ボテイ一講習会

トラック情報社

荷物の積み付け、荷締め作業を

トラック情報社は4月26日(土)午後1時からヨロス物流(大阪府豊田林市)で第1回目となる平ボテイ車講習会を開催した。近年、需要が高まりつつある平ボテイ車について、今後、参入を検討している事業者を対象に実施されたが、近畿各地から運送会社社長、配車担当者ら約20人が参加した。

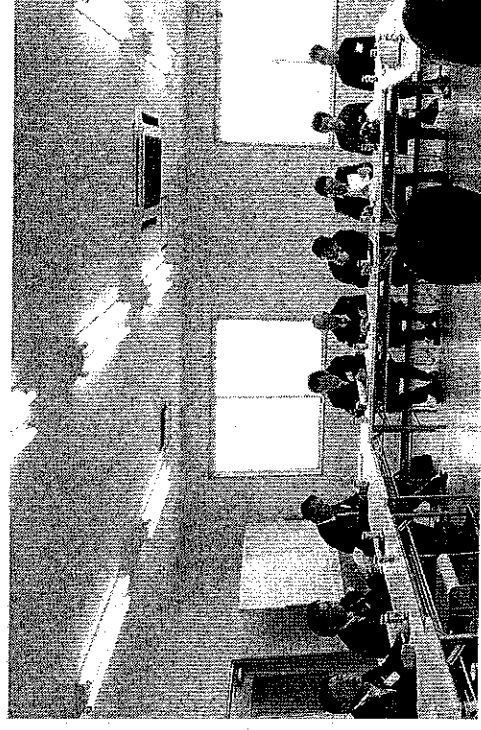
第1部の実地講習では、ヨロス物流の山田英雄部長の説明の下、平ボテイ車経験20年の村

上靖取締役と経験10年の小松将門さんらにより、荷物の積み付け、荷締め、シートがけの一連の作業が行われた。チェーンブロック用と胴締め用の2種類の荷物が用意され、天井クレーンを使って吊りあげられた荷物が4トン平ボテイ車へ下ろされ、積み付けを開始。積み付けの位置、スタンプンを使用しての荷物の固定や重重量物を仮置きするとき下に敷くはら木、また、4点締めと

呼ばれる荷締めなどを説明。担当者からは、平ボテイ車の場合、特に荷物の積み付け、荷締めが疎(おろそ)かになる車両の横転事故、荷物の落下事故につながり、また、急ブレーキ時に荷物が運転席まで貫通する危険性について説明があった。参加者は作業内容をデジカムなどで撮影し、また、随時作業内容について担当者に質問していた。

その後、さくら行政書士事務所の塚本由美代表より、特殊車両許可申請、トラック事業者に対する監査方針・行政処分などのポイントについて説明が行われた。

説明を行うヨロス物流の山田部長



会議室では様々な質問が出た

運ぶ

松浪健四郎



書に泣いた

今年の東京は書に泣いた。書国ならそれほど。書国ならそれほど。書国ならそれほど。

「長時間運送、今月から罰則強化」との情報に接したが今回の場合はどうなるのか教えて欲しい。トラックに二日間も閉じ込められたらえ、此の飛行機は、泣き面に降だ。

ドライバーの味方はどこに

はされたのではたまらない。
低賃金
そもそも低賃金といわれるドライバーたちは、職業代収入の仕組みを合わせている現実を把握せず、国の指針を順守させようとする。表面上は

味方
鳥の鳴くかのごとく、「適正運賃收受」とだれもが叫ぶのだけれど、一向どこもか動かない不思議。外野席の私たちが見れば、ドライバーの奴隷化を認めているに似る。

理解できるが、ドライバーたちは食って行けなくなりやしないか。輸送代が信じがたいほど安くなり、経営者も苦しみつつ、ドライバーの給料が低くなる一方でも、だれも自由競争を名にして実運送業者に教える手を差し延べようとはしない。

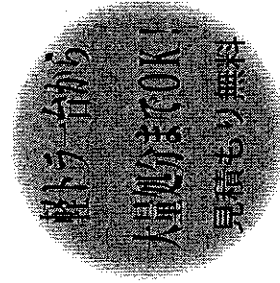
【松浪健四郎】

元文部科学副大臣、元外務大臣政務官。現在、日本レスリング協会副会長、日本アマガニス協会理事、学校法人日本体育大学理事長、日本ペンクラブ会員。アマガニ褐色の日々。他著書多数。

強い関心があり、政界とも強いパイプを持つ。労働環境の整備も大切だが、まず、胸を貼ってドライバーが生活できるように努力すべきであると思う。ドライバーなくしてこの国の経済を維持するのは難しいのだ。ドライバーの味方は、どこにもいないか。

**不要プレハブ解体処分
建物撤去・解体工事
パレット等産業廃棄物処理
アスファルト整地
事務所リフォーム**

マニフェストによる適正処分厳守
※見積もり以外の追加料金は一切ありません



サンコービルドコーポレーション
消費税込サービス
※必ず本券をご提示下さい 2014.5



親切・丁寧をモットーにしてお待ちしております！

一般建設業・土木工事業・とび土工工事業
許可番号 奈良県知事許可(般-22)第16010号
株式会社サンコービルド 池田建設
奈良県香芝市尼寺594-5
TEL0745-77-1019

三宅社長